

こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2016年7月①号

日本共産党改選3→6へ

野党統一候補、11選挙区で勝利！

京都選挙区で奮闘した大河原としか候補は残念ながら、当選することはできませんでしたが、**21万1663票**が寄せられました。報告集会では、長くてわかりにくい名前をたくさんの方が書いてくださったことに感謝の意を述べられました。裁判も、勝つのが厳しい裁判であっても、運動ともに裁判を闘う中で、前進していく。選挙も一緒。運動全体で、要求を実現していく。その先に政治を変えていくことになる。今回の選挙で確信した。寄せられた期待に応えて、ご一緒に政治を変える戦いを進んでいきましょう！と力強く挨拶されました。

都知事選 4野党が支援を確認

ジャーナリストの鳥越俊太郎（76）さんは12日、東京都内で会見し、都知事選（14日告示、31日投票）への立候補を表明し、共産、民進、生活、社民の4野党は、各党が支援し、勝利のために全力をつくすことを確認しました。

新しい政治の流れが参議院選挙から、広がり進んでいます。



右から2番目から小池晃書記局長、真ん中が鳥越俊太郎氏

野党共闘、最初のチャレンジとして大きな成功！

3年前の前回参院選では全国31の1人区のうち自民党が29選挙区を占めました。しかし、今回は野党統一候補が11選挙区で勝利したことは、最初のチャレンジとしては大きな成功です。

野党統一候補が勝利した1人区11選挙区

- ①青森県、②岩手県、③宮城県、④山形県、⑤福島県、⑥新潟県、⑦山梨県、⑧長野県、⑨三重県、⑩大分県、⑪沖縄県

つぶやき：この夏、バイクで走り回っています。介護事業所に、日本共産党市会議員団が行った、介護保険の総合事業の調査報告をお届けし、ご意見を伺いにまわっています。あらためて北区にたくさんのデイサービスや訪問介護（ヘルパー）事業所ができていのに驚きました。地図を見て、事業所先を探しながらの訪問活動なので、バイクは最適でした。もちろん自転車でもいいのですが、坂道もあつたり、暑かつたり、膝が痛くなつたりで、思い切ってバイクを調達しました。最初は怖かつたのですが、若いころ



訪問看護活動をしていたので、2、3日で勘も戻り、乗りこなせるようになりました。時速30キロを守り、走っていますので、大丈夫です！宣伝もバイクでできるように工夫しようかな～！

学費・奨学金問題は深刻

アンテナ

前号にも大学生の学費の高さ、奨学金の問題を書きましたが、選挙中もたくさんの方の悲鳴に近い声を聴きました。まず、25歳の女性は、私学の大學生の時に、毎月5万円の奨学金を借りていたそうです。当然、4年で240万円の返済義務を抱えての社会人の出発となりました。現在、毎月1万3千円の返済をされていますが、福祉の現場で働く彼女の生活は厳しい。しかも、なんと37歳まで返し続けなければならない。さらに、有利子の奨学金だったので、余分に10万円も利子分を払わなくてはならないとのこと。一生懸命に大学で学び、そして一生懸命働いているのに、暮らしが厳しいお話を聞き、胸が締め付けられる思いでした。

また、会社員として働く女性は、私学の美術大学で学費が年間で150万円程かかることから、奨学金の返済額も多くなり、決して高所得ではない中、月3万円40歳まで払わなくてはならない。結婚したい彼女もいるが、なんと彼も毎月3万円の奨学金の返済をされており、2人で暮らすと生活費は楽になるが、借金も倍になるとのこと。結婚に踏み切れないとのこと...。深刻な問題です。日本共産党は日本の高い学費を徐々に減らし10年で約半分にすることを提案しています。学費が安くなれば、奨学金で借りる額も少なく済むでしょう。そして、深い問題として、親世代の働き方も影響しています。実質賃金が5年も連続でマイナスになっていくことも問題です。親も子も苦しめる高い学費の問題は一刻も早く解決しないといけない！



好評だった青年パンフレット



